

平成23年度第2回松山地域協議会会議録

日 時 平成23年7月28日(木) 午後3時8分～午後4時28分

場 所 松嶺コミュニティセンター 講堂

出席委員 15名

1号委員 齋藤 勝 志田 節子 佐藤 旭 今田 充代 阿部 茂 丸山 慶子
池田 重悦 阿部 春一 小田 和夫 石川 信一 遠藤 俊三 村山 安子
佐藤 修

2号委員 小野 與一

3号委員 日野 健吾

欠席委員 なし

酒田市出席者

松山総合支所長 太田 豊 地域振興課長 秋葉 弘毅 建設産業課長 難波 富也
市民福祉課長 久松 正一 地域振興課補佐 後藤 晃 地域振興課主査 五十嵐昭一
地域振興課調整主任 石川 春市

傍聴者 0名

議事日程

1 開 会

2 あいさつ

3 議事録署名委員の選出

4 議 事

(1) 松山地域ビジョンについて

(2) その他

5 そ の 他

6 閉 会

【議 事】

1 開 会・・・地域振興課長

2 あいさつ

【地域協議会会長】

地域のいろいろな課題については、この地域協議会で話し合いを行い、解決を図っていくことが必要であると思います。みなさん、自信をもって取り組んでいきましょう。

3 議事録署名委員の選出

地域振興課長 申し合わせ事項により、今回は佐藤旭委員にお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

委 員 異議なし

4 協 議

(1) 松山地域ビジョンについて

地域振興課長が資料に基づき説明を行う。

日野委員 現状と課題の中の交通についてですが、地区内の主要幹線はほぼ改良整備が完了したとありますが、庄内橋については別であると解釈してよろしいのでしょうか。

松山総合支所長 そのとおりです。庄内橋については今年度予備調査に入ることになっており、改良に向けて具体的に動きだしております。ビジョンに載せてあるのはあくまでも市道を中心とした山田1号線や中通り1号線などの幹線の改良が完了したということです。

小野委員 1点目は現状課題の人口の部分です。人口動態についてももう少し詳しい説明をしたほうが良いのではないのでしょうか。例えば一人暮らしの世帯数や家族数の変遷などがあれば、より現状分析に役立つと思う。2点目は豊かな自然の魅力の点ですが、この部分は大きな柱として今後も強力に推進していただきたい。次は防災関係ですが、昨年度は内郷地区と南部地区に防災資機材と保管庫を整備し、かなり対策が進みました。今年度は松嶺・山寺地区とのことですが、尚一層、ハード面とソフト面の整備を進めていくことが重要である。観光人口については、どうしたらもっと増えるのか、なんらかの方策はないものか、まだ検討する余地はあると思う。やはり目標を立て、その目標に向かって実践と検証を重ねていくことが大事である。

地域振興課長 人口動態をさらに詳細に表してもマイナス要因しか表現することができない。できれば前向きな表現にしたいと思ったが難しいものがある。スペースの関係もあり、これで了承していただきたい。防災関係についてはソフト面の整備も今年度からスタートしている。

松山総合支所長 観光入込み数の差については旧3町でかなり差があります。これは集客をするスポット施設の差です。例えば八幡、平田の温泉施設とさんさんではかなりの差があるし、直売所についても八幡地区のたわわ、平田地区のめんたま畑はかなりの集客力を誇っています。また、松山地区では眺海の森の入込み数は10万人位あるが、歴史公園となると5千人位しかありません。これは眺海の森を訪れた観光客が町なかになかなか留まらないことを意味しています。町の時代から各種の施設については充分整備を進めてきた経緯はありますが、施設を魅力あるものにし、格差を埋めるためには、他の地区よりも少し手を加える必要があります。ビジョンの中ではこういった課題に対する施策を取り上げています。

佐藤(旭)委員 資料の中に今後検討という事業がありますが、ビジョンの計画期間内で取り組むのでしょうか、それとも計画期間内からは外れるという意味合いでし

ようか。

地域振興課長 基本的には計画期間内で実施する事業、あるいは実施したい事業である。ビジョンをまとめる段階までに所管課との協議が整わないため、今後検討としているものである。

阿部（茂） 委員 ビジョンですので、何年後にこの事業をやるという話しではなく、今後の進むべき大きな方向性として捉えて良いのではないかと思う。個々の事業については、今後、具体的になってきた段階で話し合いがあると理解してよろしいのですか。

地域振興課長 今後具体的に事業を進めるにあたっては、地域のみなさんの意見を取り入れながら進めていくことになる。現段階では、まず、このビジョンを地域協議会のみなさんから正式に決定していただき、それからスタートすることになる。

村山委員 地域福祉の体制づくりに関して、現在は自治会や社会福祉協議会などの個々の組織がそれぞれネットワークを持っていますが完成度は70%位ではないでしょうか。高齢者にとって住みよい町とは、なんといっても安全で安心して暮らすことができることだと思います。それには、それぞれの組織が持っているネットワークの完成度を90%以上に上げ、それらを総合的に結び、危機管理という1本のルートで管理することが必要だと思います。プライバシーの保護や縦割り行政という弊害もあると思いますが、小さな地域ですので実現できる可能性はあると思います。

市民福祉課長 危機管理については、今後各組織との連携を一層密にして取り組んでいきたいと思っています。

松山総合 支所長 高齢者の安全・安心については、今後、酒田市の地域福祉計画を見直す中でいろいろな制度を総合的に調整する必要があります。また、地域のネットワークづくりには関係団体が協力して進めていく必要がありますが、要となる部分については行政が取り組むべきものと思っています。

日野委員 市道からスキー場の駐車場へ入る部分の舗装が相当破損しており、眺海の森のイメージダウンになっています。そういうことは何処へ連絡すればよいのでしょうか。

建設産業課長 担当部署は建設産業課です。ご指摘の駐車場については一度に全部直すことはできませんが、部分的に補修する予定です。

遠藤委員 松山体育協会として震災の義援金を集め、先日宮城県の大崎市へ届けに行ってきました。その際、10月15日にシニアソフトボールチームが本地域において交流試合を行う約束をしてくれました。夜に交流会を開催するのですが、大崎市からは義援金のお礼を兼ねて体育協会の会長がお見えになるそうです。そういった事業に対して、支所が予算と権限を持つことができるように要望します。

小田委員 ソフト事業についてですが、例えば花いっぱい事業などは地域みんなで行き組むことにしていますが、実際は年配者が多く、子どもたちは参加していない、地域コミュニティのことを考えると、もっと子どもたちが参加するような方策を考える必要がある。特産品については地域で地域のものを消費し、それをブランド化していく計画になっているが、消費人口が年々減少している現状では販売への対応に一工夫必要である。通りすがりの観光客の足を向けさせるには観光地の説明だけでなく、商品の説明も出来る人を育てたり、大きなデパートで試飲会を開催したり、こうしたソフト面を含めた商品開発や観光事業を展開する必要がある。それから、この地域には現役で働いている人たちが憩える場所や遊べる場所がない。八幡地区にはゴルフ練習場やアスレチックなどの施設がある。現役で仕事をしている人たちが、松山地域でスポーツをして汗を流しているケースがあるのか疑問である。こうしたすぐにでも必要な事業に対する計画も必要である。

地域振興課長 花いっぱい事業については、以前は業者に委託してやっているというイメージが強く一般の参加者は少なかったが、一昨年あたりから地域の自治会のみなさんと一緒に植栽や管理をやりましょうという方向に変わってきている。今後もこの方向で継続していきたい。現役世代の憩いの場や汗を流せる場については、特に松山地域への必要性にはこだわっていない。他の地区にあるものを、あえてこの地区にもつくるということは考えていない。お互いに無いものを補完し合いながら利用していくことが大事であり、今後はこの地区にしかない施設を整備していく予定である。

建設産業課長 観光面については宿泊型、滞在型などいろいろな形がありますが、このビジョンでは滞在型で交流人口を増やすことを目標にしております。そのためには松山地域が酒田市全体の中でどのような役割を担っていくかがポイントであり、それが眺海の森であり歴史公園であると捉えております。特産品開発にしても、いきなり新製品が誕生する訳ではないので、最初はみなさんで考えていきましょうという人づくりから始まると考えております。

村山委員 松山地域ではボランティア組織がなかなか育だっていないと感じます。福祉部門で活動が活発なのは婦人会や老人クラブのような大きな組織だけです。ビジョンには観光ボランティアの育成について載せてありますが、是非積極的に取り組んでいただきたいと思います。私も実際観光地へ行って感じが良いのは観光ボランティアが充実しているところです。また、これからは観光以外にもいろいろな部門でボランティアが必要になってくると思いますので、人づくり等のソフト事業に重点を置くことを要望します。

日野委員 私は天体観測館の施設の仕事をしております。入館料が他の施設に比べてだいぶ安いのですが、この料金は酒田市の条例か何かで決まっているのでしょうか。たまに、近くまで来た人に入館料を聞かれることがあるのですが、

中にはあまりの安さに料金を聞いただけで帰ってしまう人もおります。料金は自由に決めることはできないものでしょうか。

松山総合支所長 酒田市でいえば使用料に当たるものですが、基本的な考え方は使用料で施設の運営管理費を賄うということです。それは入場者数が多ければ可能ですが、実際はなかなか難しいことです。その施設の目的、趣旨、類似施設の入館料などを参考にしながら、それぞれの施設の入館料を決定することになります。実際には合併前のいきさつもあり、入館料がバラバラになっているところもあります。

阿部（春一）委員 平成29年度までの事業ということであれば、将来的なデータを示した方が良いと思う。現状の年齢人口と平均寿命がわかれば将来の人口は予測可能である。そういったデータがあればもっと分かり易いものになるのではないか。将来の人口はどうなるのか、増やしたいのか、現状維持でよいのか、増やすためには何をしたらよいのか。それがビジョンであると思う。そうすることによって松山地区の観光人口をどうしたいのかも書けるのではないか。教育の関係では現状の児童・生徒数から将来のクラス数の変化までのデータが欲しい。

それから、ビジョンにはキャッチフレーズが欲しい、それも5本の柱ではなく、1本に絞ったほうが良いと思う。松山地区には夜景が似合う。例えば百万ドルの夕日ではどうか。柱を1本にすることは小さな組織、小さな地区であればあるほど必要なことだと思う。酒田のような大きなところでは良いだろうが、松山のような小さなところで何でもやろうとすると、逆に共倒れになってしまうのではないか。1本にすることで他の5本の柱もやり易くなるのではないだろうか。また、さんさんも生きてくる。20年前東京で暮らしていたときに松山の夜景が載っている雑誌を見たことがある。編集者はこの写真で全国から人を集めることができると評価したものと思う。

地域振興課長 このビジョンは酒田市の総合計画を踏まえて作成している。市の総合計画では将来人口は減少すると予測しており、目標を現状維持に置いて様々な施策を実施している。松山地区においても将来人口を予測すると、大変厳しい数値になるが、ビジョンでは目標を現状維持に置いている。ここで生まれた人はもちろんのこと、外部の人もここに住みたい、住み続けたいと思うような地域にするために様々な事業を企画したものである。

キャッチフレーズについてはこの地域にぴったりの良いものだと思いますが、1本ですべてをカバーするのは厳しいものがある。どうするかは地域協議会のみなさんで話し合っていたきたい。

佐藤（旭） キャッチフレーズは重要な意味合いを持っている。取り入れるかどうかは時間をかけて検討する必要がある。今この場ですぐに決めることには無理があるのではないか。

石川会長　ほかに意見が無いようなので、キャッチフレーズについては大変良い意見ですので、取り入れることを前提として今後の課題とします。そのほかにも意見がないようですので地域ビジョンに関する協議を終了して、今回のビジョンを松山地域協議会としては松山地域ビジョンとして決定することになります。ご意見ございませんか。

委　　員　　異議なし。

石川会長　その他について何かご意見ございませんか。

委　　員　　なし。

石川会長　意見が無いようなのでこれで第2回松山地域協議会を終了します。最後に副会長よりご挨拶申し上げます。

齋藤副会長　本日は午後から市議会議員とも会合を持つことができ、いろいろな場で地域の声を反映させることができたと思います。長時間たいへんご苦労さまでした。